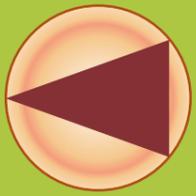


七飯町桜MAP

本町編 (役場近辺)



ほほえ新病院の桜
 ほほえ新病院の歴史は古く、敷地内には桜の大木が多い。入り口付近には「北鷗」や「松月」、ほかにも「南殿」「系括」などが見られます。

↑ 函館新道へ

田園通り

田園通りの桜並木
 田園通り沿いには、染井吉野や関山、高砂などの桜が植栽されている。この桜達は、満開になる時期が、異なるため4月下旬から5月下旬までの長い期間にわたって、並木の美しさを楽しむ事が出来る。ウォーキングのコースにいかがでしょうか？

八重紅枝垂 (やえべにしだれ)
 明治時代に仙台市長だった遠藤康治が仙台市内に植えたため、別名「遠藤桜」ともいわれる。花弁は12~20個。おしべは約60本あり、めしべは1、2本。谷崎潤一郎が愛した桜でもあり、花の色が濃く、美しい八重咲きになる。5月中旬が見頃
 ※注意 個人宅なので道路から見るようにしましょう

霞桜 (かすみざくら)
 花弁は5個。楕円形で普通は白色。おしべが約40本あり、めしべは1本だけ。九州以外の日本各地でみられ、細い枝が数多く出る。5月中旬から下旬にかけて山で白い桜をみたら、ほぼ霞桜と考えてよい。七飯町では、大沼方面や近くの山々でよくみられる野生種。5月中旬が見頃

染井吉野 (そめいよしの)
 花弁は5個。おしべは36本あり、めしべは1本。微淡紅色で開花後に白色になる。九州から北海道までいたる所に植栽されている。葉が出る前に花がたわわになり華やか。でも桜の大敵「てんぐ巣病」にかかりやすい。5月上旬が見頃



七飯の大銀杏

八重紅枝垂

大山桜

七飯町歴史館

七飯町文化センター

文化の森

丁子桜

七飯町役場

見晴公園

七飯町ファミリースポーツセンター

いろいろ桜が多い詳しくはウラ面へ

文化センターの桜
 あまり知られていないが、文化センター駐車場の緑地には、珍しい桜がある。詳しい解説は右下参照。

七重小学校前の桜並木
 国道5号沿いにみられる七重小学校敷地内の桜並木は、染井吉野の大木がならび、5月上旬ころが見頃

七重小学校

七重小学校グラウンド

七飯郵便局

国道5号 (赤松街道)

函館信用金庫

函館方面 →

本町交番

ダイソー

ワルバ

オーヨン

大島桜

松倉整形外科

宮村内科医院

ゆうひの館

あかまつの里ほほえ

陽光 (ようこう)
 愛媛県の高岡正明が天城吉野と寒緋桜を交配してつくった品種。花弁は5個で淡紅紫色。多少うねるようなしわが見られる。5月上旬から下旬が見頃

枝垂染井吉野 (しだれそめいよしの)
 枝が枝垂れるほかは染井吉野と変わらない大島桜と枝垂桜の雑種と考えられる。花弁は5個で淡紅紫色。5月上旬が見頃
 ※注意 個人宅なので、道路から見るようにしましょう。

高砂 (たかさご)
 花弁は10~15個。おしべは35~50本あり、めしべは1本。八重咲きで「てんぐ巣病」にかからない性質をもつ。もともと、東京荒川堤で栽培されていた品種といわれる。5月中旬が見頃

丁子桜 (ちょうじざくら)
 現在、北海道では七飯町でしか見ることができない品種。別名「めじろざくら」ともいう。花が小さく甘い蜜が入っている。桜の原種のひとつでもある。おしべは20~25本、めしべは1本。5月上旬から中間が見頃

てんぐ巣病とは？
 桜の枝の一部に、またかも天狗が巣を作ったような、こぶ状のふくらみができたり、小枝がほうきのように伸びる病気です。病巣はやがて枯損しますが、枝も枯れてしまい、材が腐れやすくなります。被害が大きくなると、桜の木そのものが枯死してしまい、桜にとっては、こわい病気のひとつです。

御衣黄とウコン (ぎょいこうとうこん)
 花弁は約13個で淡緑色になる珍しい桜。また、この桜から、黄色い花を咲かせる「ウコン」という桜が突然変異で生じている。遺伝子学上でも貴重な北海道では唯一の例。5月中旬が見頃
 ※注意 個人宅なので、道路から見るようにしましょう。

いろいろ桜が多い詳しくはウラ面へ

寿公園

サオン・ド・ド・テ・シユクル

湖上の舞 (こじょうのまい)
 関東周辺の山に分布する富士桜の仲間といわれる。古くはると、枝がうねるようにたわさがる。5月上旬が見頃
 ※注意 個人宅なので、道路から見るようにしましょう。

神代曙 (じんたいあけぼの)
 東京都の神代植物公園で栽培されている江戸彼岸と多種の雑種と考えられる。花弁は淡紅紫色で先端はやや色が濃い。5月上旬が見頃

江戸彼岸 (えどひがし)
 一般に「枝垂桜」と呼ぶものは、この品種のことをさす。花弁は5個で淡紅色。高木でしばしば巨樹になるものがある。染井吉野の親のひとつでもある。5月上旬が見頃

北斗市方面 ↓

本町下通り